

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		医療秘書・情報学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		ITパスポート概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (20) 時間(単位)
対 象 学 年		1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員		吉岡 伸一郎	実務経験とその関連資格	PG/SE/MGRとしてITシステム設計製造・マネージメントに従事 IPA 基本・応用情報処理技術者、プロジェクトマネージャ、ITストラテジスト試験合格者			
《授業科目における学習内容》							
ITパスポート取得に必要なレベルの学習内容からIT基礎内容を俯瞰して把握出来る概要知識を身に付ける							
《成績評価の方法と基準》							
試験(40%)、出席(30%)、平常点(30%:主として授業態度、但し場合により抜き打ちテスト点数を加味)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集 TAC出版 ※プロジェクター使用必須							
《授業外における学習方法》							
自習(予習・復習)進捗の確認(確認方法は主には講義中の口頭などでの知識チェック、但し場合により必要に応じて抜き打ちでのテスト等を行う)							
《履修に当たっての留意点》							
ITパスポートレベルはIT資格系では最もベーシックな内容となるが、ここで躓くと続く知識の獲得に大きく響いてしまう。 今や医療系はじめどのような職業であってもIT知識は必須となるため、まずはこのレベル感には着実に身に付けていこう心がけること							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報セキュリティ基礎1を理解することができる		みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習	
		各コマにおける授業予定	情報セキュリティの定義(3大要素)、及びよく知られる脅威の種類とそれらへの主な対策方法について学ぶ				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報セキュリティ基礎2を理解することができる		みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習	
		各コマにおける授業予定	不正アクセスやマルウェアといった情報セキュリティに対する脅威のより詳細とその主な対抗手段について学ぶ				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報セキュリティ基礎3を理解することができる		みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習	
		各コマにおける授業予定	脅威に対するマネジメント(リスクマネジメント)の種類、及び今日の情報通信セキュリティの根幹をなす「暗号化」について概略を理解する				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報セキュリティ基礎4を理解することができる		みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習	
		各コマにおける授業予定	ITシステムとしての不正アクセスなどへの防御手段としてよく知られるファイアウォールやフィルタリングについての概略を理解する				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報システム開発の開発手法、プロセス、テスト方法について1を理解することができる		みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習	
		各コマにおける授業予定	一般によく知られるITシステムの開発モデル(ウォーターフォール等)を始めとして、それらに付随する知識、また特性について学ぶ				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報システム開発の開発手法、プロセス、テスト方法について2を理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習
		各コマにおける授業予定	システム開発工程にフォーカスし、一般にどのような段階を踏んで開発が行われるか、そのステップを理解する また、開発途中、または開発完了後に行われる各種「テスト」の種類や適用範囲についても学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報システム開発の開発手法、プロセス、テスト方法について3を理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習
		各コマにおける授業予定	システム開発においては、通常1人でリニアにプロセスを進めることは少ないため、複数のタスクをまとめて最終的にプロジェクト成功に導く必要がある そのために必要な「プロジェクト管理手法」の概略を学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報システム開発の開発手法、プロセス、テスト方法について4を理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習
		各コマにおける授業予定	プロジェクト管理においては各種図表を用いて行われることが多い。またシステム構成を表現するにあたってやはり独特な図を用いる事が少なくない。ゆえにこれらの「図表」にフォーカスしてその種類や用途の概略を学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報システムの管理1を理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習
		各コマにおける授業予定	運用保守サイクルにおける「PDCA」の理解、及びシステム全体としての性能を示す指標であるRASIS(ここではRASのみ)について概略を理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報システムの管理2を理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習
		各コマにおける授業予定	RASにフォーカスした場合、一般によく問われることの多いMTTR、MTBF、稼働率について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報システムの管理3を理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習
		各コマにおける授業予定	情報システムとて機械とソフトで構成されるものゆえ、何らかの障害が発生することは予期しておかなければならない。主に列挙されることの多い障害の種類とそれらに対して主として予め具備されるべき設計思想について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	情報システムの管理4を理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習
		各コマにおける授業予定	何らかの障害やサイバー攻撃に備えてデータを保全する方法として一般的な「バックアップ」の「種類」とそれぞれの特徴について学ぶ また、データ保全の意味で通常システム構築段階で考慮する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的財産権、ソフトウェアの契約形態、また契約時のサービスレベル合意書についてを理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習
		各コマにおける授業予定	ITシステムの一端をなすソフトウェアやデータベースなどにも一定の基準を満たせば法的な保護対象となり得る ゆえにそれらを用いる際には対価を支払う必要があるものも存在する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	通信暗号化についてを理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	左記教材を中心とした予習・復習
		各コマにおける授業予定	本来情報セキュリティの一端ではあるが、今日の情報通信の根幹をなす「暗号化」と「公開鍵暗号」の概略を理解する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	総まとめ(前期試験)を理解することができる	みんなが欲しかった ITパスポート教科書&問題集	
		各コマにおける授業予定	総まとめ(前期試験)		